

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 1日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県あわら市自由ヶ丘1-8-10

氏名 レンゴー株式会社 金津工場
工場長 熊下 雅之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0776-73-1234(代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 レンゴー株式会社 金津工場

事業場の所在地 福井県あわら市自由ヶ丘1-8-10

計画期間 2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類 E14 パルプ・紙・紙加工品製造業

②事業の規模 段ボール原紙出荷額254.5億円 硫酸バンド出荷額1.3億円
機能性製綿製品出荷額0.4億円 売電事業3.3億円

③従業員数 144名(2023年4月現在)

④産業廃棄物の一連の処理の工程 別紙1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	289204.14 t	t
	（これまでに実施した取組）製造工程、排水処理工程から発生する廃棄物を焼却処理し、焼成灰の一部を製紙原料として再利用し、工場排出廃棄物の抑制を行っている。2017年度に生産設備の増強工事を行い、以降毎年生産量を増大している。製造工程の効率化・排水処理工程余剰汚泥の削減対策により発生量は減少している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	300805 t	t
	（今後実施する予定の取組）製造工程から発生する汚泥、廃プラの抑制のため、歩留まりの向上と購入原料古紙の品質チェックの強化に努める。又、購入資材の包装材料の見直しと再利用化を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）事業所内の分別マニュアルを随時策定し直して、分別強化に当たっている。2018年10月より水銀使用製品産業廃棄物を分別し、専門業者での処理を行うようにした。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）更に分別置き場を細分化し、廃棄物の自己処理と再利用化を推進する。混合廃棄物の事業所内での分別強化を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	775.47 t	80.91 t
	（これまでに実施した取組）焼却処分後の残渣を全量廃棄物として排出していたが、現在は焼成炉の運転により一部の廃棄物については製紙原料として工場内で再利用を行っている。製造工程からの微細繊維回収量を増加し、再利用に		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	798 t	83 t
	（今後実施する予定の取組）焼成炉での焼却効率を上げ、排出する焼成灰の熱灼減量（有機成分残量）をさらに低減し、焼成後のPS灰（燃え殻）の製紙原料への再利用率を増加させる。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	9984.13 t	4339.37 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	229813.66 t	49146.81 t
（これまでに実施した取組）製造工程、排水処理工程から発生する廃棄物は、すべて脱水・焼却処理、焼成処理を行っている。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	10283 t	4469 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	236708 t	50621 t
（今後実施する予定の取組）引き続き脱水・焼却処理を行っていく。汚泥脱水処理設備での能力向上を図り、焼成能力の向上につなげる。また、製造工程での歩留まりの向上により廃棄物排出量の抑制に取り組む。2018年6月より排水処理工程からの繊維分回収を行い原料化することで汚泥排出量の削減を行っている。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

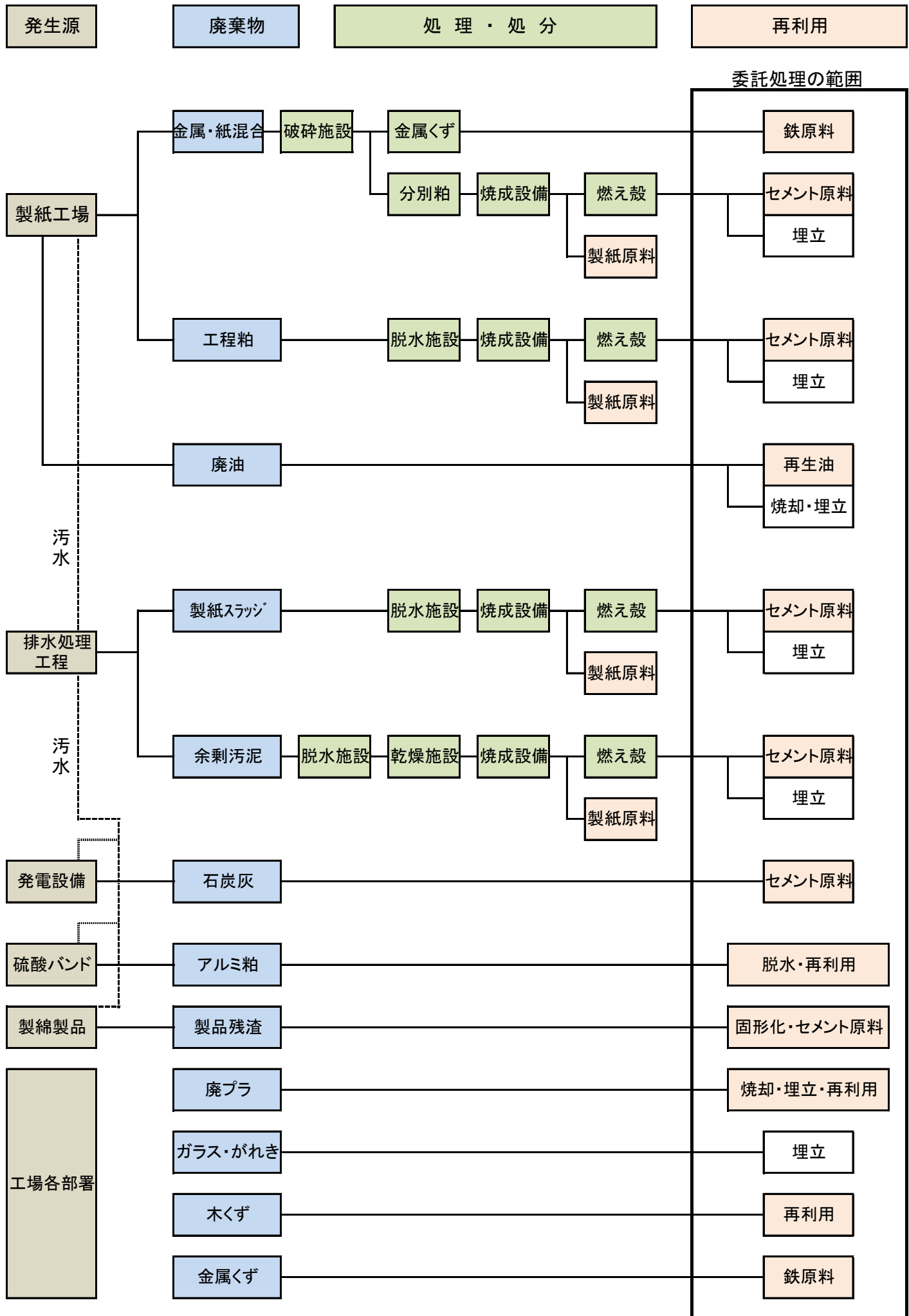
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
	全処理委託量	9387.31 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	516.76 t	t
	再生利用業者への処理委託量	9231.80 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 処理業者との委託契約を随時見直し、適正処理、法令順守に努める。平成21年3月より電子マニフェストの運用を開始しており、適正処理に努める。2022度より委託処理していた廃プラの一部をRPFでの再利用に転換している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
	全処理委託量	9668.93 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	532.26 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	9508.75 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き適正処理、法令順守に努める。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

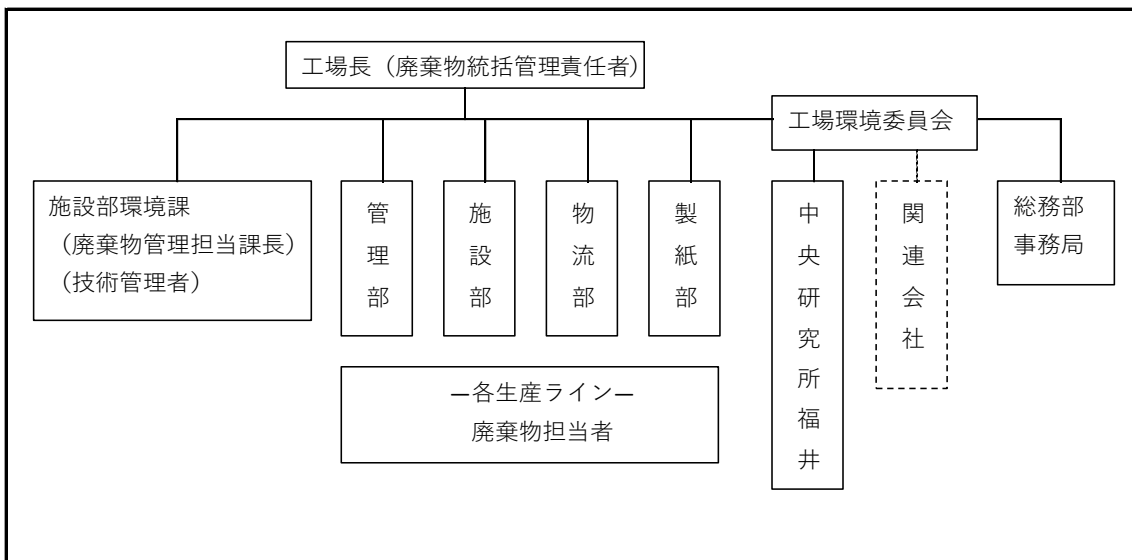
別紙1 廃棄物処理フロー図



別紙2 産業廃棄物の処理に係る管理体制

(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者 廃棄物担当		組織名：レンゴー(株)金津工場 職・氏名：工場長 熊下 雅之 組織名：施設部 環境課 職：環境課長 組織人数：10人
役割	金津工場 環境委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再利用、中間処理、適正処理の推進等、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・ 委員長－工場長 ・ 委員－関連部署部長 ・ 事務局－総務課
	廃棄物処理 統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	総務課 環境課	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生処理業者の調査選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する項目



別紙3

産業廃棄物の種類	2022年度排出量	2023年度計画量
汚泥	231,295.46 t	240,547 t
ガラス・保温材	10.29 t	11 t
がれき	4.37 t	5 t
木くず	16.64 t	17 t
金属くず	1,062.42 t	1,105 t
廃アルカリ	0.15 t	0 t
廃酸	0.14 t	0 t
ばいじん	6,359.51 t	6,614 t
廃プラ	49,316.85 t	51,290 t
廃油	18.43 t	19 t
燃え殻	1,119.90 t	1,197 t
合計	289,204.14 t	300,805 t

